

新「いわて特別支援教育推進プラン」(素案)への意見検討結果一覧表

資料8

2023.08.31現在

回答番号	頁	キーワード	大区分	中区分	小区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への反映 状況	本文修正 の有無	記載内容(現行)	記載内容(変更後)
例		つなぐ	卒業後を見据えた支援の充実	進路・就労支援の充実	技能認定会を活用した教育活動	〇〇については、〇〇〇であり、〇〇〇〇ではないか。	〇〇については、〇〇〇であり、〇〇〇〇であることから、御意見のとおり、修正しました。	A (全部反映)	有	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
1	2	その他	新しい「いわて特別支援教育推進プラン」の方向性	特別支援教育に関する推進プランの概要と国の動向	国の動向	国の動向については、「特別支援教育の担う教師の養成の在り方に関する検討会議」で、採用後10年目までに特別支援教育を経験した教師の割合や小学校等の校長の特別支援教育にかかわる教職経験を、国による調査把握の項目に掲げていることも、この内容に追加いただきたい。	「特別支援教育を担う教師の養成の在り方に関する検討会議」については、新推進プラン策定に関わる国の施策であることから、その内容の概略について盛り込みました。	B (一部反映)	有	なし	令和4年3月の「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議報告」では、学校経営方針等に関する目標を設定し、校内体制を整備することや採用後10年以内に特別支援教育を複数年経験する等の方策が示されました。
2	9 10	支える	支える～教育環境の充実・県民理解の促進			今後も県民への啓発や企業、医療関係者、支援団体との教育関係者との意見交流を進め、共生社会実現に向けて、学校への働きかけをお願いしたい。	今後も県民への啓発、企業、医療関係者、支援団体との教育関係者との意見交流を進め、共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。	C (趣旨同一)	無		
3	13	つなぐ	早期からの継続した教育支援体制の充実			達成状況をどう総括して、「整備」から「充実」という表現に格上げしたのか。	「早期からの継続した教育支援体制の整備」について、アンケート結果では目標値に達しておらず、今後も整備が必要であると捉えられることから、御意見を踏まえ修正しました。	A (全部反映)	有	早期からの継続した教育支援体制の充実	早期からの継続した教育支援体制の整備・充実
4	13	つなぐ	早期からの継続した教育支援体制の充実			「つなぐ～就学から卒業までの一貫した一貫した支援の充実」とあるが、現在、幼児教育センターを県教委では立ち上げ、幼稚園・保育園との連携教科を回らうとしている状況において、特別支援教育はあえて就学からなのか。早期からの支援体制というのには、就学前も含まれているように思う。	「早期からの継続した教育支援体制の充実」の内容は、就学前も含まれているので、御意見を踏まえ修正しました。	A (全部反映)	有	就学から卒業までの一貫した支援の充実のためには、本人及び保護者に対して十分な情報を提供した上で、早期からの教育相談・支援、就学支援、就学後の適切な教育及び必要な教育的支援全体を一貫した教育支援体制の充実を図る必要があります。	就学前から卒業後までの一貫した支援の充実のためには、本人及び保護者に対して十分な情報を提供した上で、早期からの教育相談・支援、就学支援、就学後の適切な教育及び必要な教育的支援全体を一貫した教育支援体制の充実を図る必要があります。
5	13 14	つなぐ	早期からの継続した教育支援体制の充実	早期からの継続した教育支援体制の整備	引継ぎシート等による継続した支援	幼小中との情報交流を通して、引継ぎシートを効果的に活用していきたいと考える。	引継ぎシート等を活用することについては、就学移行期における継続支援につながるものであることから、効果的な活用をお願いします。	C (趣旨同一)	無		
6	14	つなぐ	早期からの継続した教育支援体制の充実	早期からの継続した教育支援体制の整備	引継ぎシート等による継続した支援	「中学校段階から高等学校段階への調査書・引継ぎシートを活用した継続支援」について、必ず引継ぎシートを活用するのであれば、引継ぎの流れを明示するなど、学校現場がわかりやすいシステム化を図るような工夫が必要と考えるため、「中学校段階から高等学校段階への引継ぎの充実」くらいの表現の方がいいと考える	中学校段階から高等学校段階への引継ぎについては、「岩手県立高等学校入学者選抜実施要項 II 合格者に係る高等学校への提出書類」に引継ぎシートが記載されており、高等学校へ送付することとしています。文言をそろえる必要があることから、一部修正をいたしました。	B (一部反映)	有	中学校段階から高等学校段階への調査書・引継ぎシートを活用した継続支援	中学校段階から高等学校段階への引継ぎシート等を活用した継続した支援
7	15	つなぐ	卒業後を見据えた支援の充実	進路・就労支援の充実	就労支援ネットワーク会議等を活用した、高等学校等への情報提供	具体的施策に商工労働観光部で実施している以下の施策を追加してほしい。 ＜県(商工)＞ ・県内就業・キャリア教育コーディネーター及び就業支援員による支援 ・各障害者就業・生活支援センターによる支援 ・地域若者サポートステーションによる支援	他部局で実施していただいている特別支援教育に関する施策に関しては、本文に追加いたしました。	A (全部反映)	有	なし	＜県(商工)＞ ・県内就業・キャリア教育コーディネーター及び就業支援員による支援 ・各障害者就業・生活支援センターによる支援 ・地域若者サポートステーションによる支援
8	15	つなぐ	卒業後を見据えた支援の充実	進路・就労支援の充実	各特別支援学校における地域企業との連携	具体的施策に商工労働観光部で実施している以下の施策を追加してほしい。 ＜県(商工)＞ ・学校卒業予定者を対象とした障がい者委託訓練等の実施 ・インターンシップの受入	他部局で実施していただいている特別支援教育に関する施策に関しては、本文に追加いたしました。	A (全部反映)	有	なし	＜県(商工)＞ ・学校卒業予定者を対象とした障がい者委託訓練等の実施 ・インターンシップの受入
9	16	いかす	いかす～各校種における指導・支援の充実～			これまで継続型訪問支援を活用し、当別支援学級担任の助言・指導をしていただき、人材育成に努めてきた。今後も特別支援教育を充実させるために、専門的な指導ができる教諭と校内での研修を深めるコーディネーターの育成が必要であると考えます。また、ことばの教室及びLD教室を担当できる教員がいないという課題について学校への心強い支援をお願いしたい。	継続型訪問支援については、全ての学級を対象とすることとし、継続して実施してまいります。また、通級担当を含めた特別支援教育を担う教員の育成については、教職員等の専門性の向上の中で取り組んでいくこととします。	C (趣旨同一)	無		
10	16	いかす	地域資源を活用した指導・支援の充実	目指す姿	進捗状況確認指標	＜目指す姿＞「各校において地域資源を活用した指導・支援の改善に努め～」と記載されているが、目標値の指標は市町村の取組状況の割合を用いており、学校の取組状況の割合を用いるべきではないか。	＜目指す姿＞が「各校において～」となっているので、指標の割合も学校の取組状況を用いた方がよいことから、御意見の通り修正しました。	A (全部反映)	有	＜進捗状況確認指標＞ コーディネーターを活用して、指導・支援の改善に努めている市町村の割合	＜進捗状況確認指標＞ 教育上特別な支援を必要としている児童生徒が在籍している学校で、学校がエリアコーディネーターや中核コーディネーター、特別支援学校のセンター的機能等を活用が必要と判断し、実際に活用して指導・支援の改善を行っている学校の割合
11	16	いかす	地域資源を活用した指導・支援の充実	目指す姿	進捗状況確認指標	「コーディネーターを活用して～」とあるが、コーディネーターとは誰をさすのか明確にした方がよい。	コーディネーターがどのコーディネーターを指すのかを明確にした方がよいことから、御意見の通り修正しました。	A (全部反映)	有	＜進捗状況確認指標＞ コーディネーターを活用して、指導・支援の改善に努めている市町村の割合	＜進捗状況確認指標＞ 教育上特別な支援を必要としている児童生徒が在籍している学校で、学校がエリアコーディネーターや中核コーディネーター、特別支援学校のセンター的機能等を活用が必要と判断し、実際に活用して指導・支援の改善を行っている学校の割合

資料8-1

新「いわて特別支援教育推進プラン」(素案)への意見検討結果一覧表

資料8

2023.08.31現在

回答番号	頁	キーワード	大区分	中区分	小区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への反映 状況	本文修正 の有無	記載内容(現行)	記載内容(変更後)
12	16	いかず	地域資源を活用した指導・支援の充実	特別支援学校のセンター的機能を生かした地域等への支援	地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援	特別支援教育中核コーディネーターの動きが見えないので、どのような動きをしているのか伺いたい。	特別支援教育中核コーディネーターの活動が始まりまだ期間が短いこともあるので、その役割や活用事例の周知に取り組んでいくこととします。	C(趣旨同一)	無		
13	16	いかず	地域資源を活用した指導・支援の充実	特別支援学校のセンター的機能を生かした地域等への支援	地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援	特別支援学級における教育の充実を図る際に、中核コーディネーターの活用を図ることは、大変有意義であり効果的であると考え、本プランの施策を進めていただきたい。一方で、中核コーディネーターは学級担任をもっており、活動に制限されることから、中核コーディネーター配置校に県独自の財源で加配教員を配置するなどの物理的支援をお願いしたい。	特別支援教育中核コーディネーターの活用について共有する機会を設けながら、効果的な活用についての周知に取り組んでいくこととします。また、中核コーディネーターの役割については、それぞれの担っている役割を考慮しながらも効果的な活動になるよう取り組んでいくこととしたいと考えています。	F(その他)	無		
14	17	いかず	地域資源を活用した指導・支援の充実	エリアコーディネーターによる関係者等の連絡・調整・研修支援	特別支援教育エリアコーディネーターの支援体制整備	特別支援教育エリアコーディネーターの支援体制整備について、高等学校への教科学習を含めた随時相談支援体制構築とあるが、盛岡地区の高校になるのか、全県の高等学校になるのか伺いたい。	通常の学級における教科指導等への相談対応ができるように、教科指導を行っている盛岡青松支援学校にエリアコーディネーターをお願いし、さらなる支援の充実を図っていくこととします。また、教科指導等への相談支援について、他地区のエリアコーディネーターや特別支援学校の特別支援教育コーディネーターとも共有しながら支援の充実に取り組んでいくこととします。	C(趣旨同一)	無		
15	18	いかず	多様なニーズに対応した指導・支援の充実	目指す姿	進捗状況確認指標	多様なニーズに対応した指導・支援の充実を図る目標として、SV級の認定者の人数というものでよいか伺いたい。	専門性の向上に向けた研修により、教育上特別な支援を必要とする児童生徒が適切な指導と必要な支援を受けられることと目指しているものであることから、御意見を踏まえ修正しました。	A(全部反映)	無	<進捗状況確認指標> 特別支援教育認定制度SV級認定者	<進捗状況確認指標> 特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数
16	18	いかず	多様なニーズに対応した指導・支援の充実	各校種の特別支援教育の推進	小・中・義務教育学校における教育上特別な支援を必要とする幼児への指導・支援	中学校と特別支援学校高等部との情報交換をするだけでなく、高等学校も入れることで進路に向けた具体的な話し合いとなるのではないかと。	高等学校も入ることが、中学校による特別支援教育に係る進路指導の充実のために必要かどうか、いただいた御意見を参考とさせていただきます。	D(参考)	無		
17	19	いかず	多様なニーズに対応した指導・支援の充実	各校種の特別支援教育の推進	多様性を前提とした学級経営、教科教育と特別支援教育の融合	1人1台タブレットPCということで、GIGAスクール構想が進んでいるが、教育的ニーズに応じた利用の充実を図っていただきたい。	ICT機器(タブレット型端末)を活用した実践の充実を図ることについて、教科教育と特別支援教育の融合につながるから、御意見を踏まえ修正しました。	A(全部反映)	有	なし	・IGT機器(タブレット型端末)を活用した実践的・効果的な授業の展開や授業改善の推進 ・IGT機器(タブレット型端末)を活用した授業の在り方や授業実践に係る情報交換・取組の共有等に関する校内研修会の実施 ・ICT機器(タブレット型端末)実践事例集の作成
18	19	いかず	多様なニーズに対応した指導・支援の充実	各校種の特別支援教育の推進	高等学校における指導・支援の研究	高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒への支援の充実に向けたガイドブックとは誰を対象としたものか。	ガイドブックは学校の先生方に向けたものを作成します。高等学校に在籍する支援が必要な生徒への支援にポイントを絞ったガイドブックを作成することで、高等学校の特別支援教育の推進につなげていけるように取り組んでいきます。	F(その他)	有		
19	20	いかず	多様なニーズに対応した指導・支援の充実	教職員等の専門性の向上	特別支援学校教員、特別支援学級・通級による指導担当教員等研修	通級による指導担当教員養成講座の「拡大」とはどのような内容を意図しているのか。	通級による指導担当教員養成講座は、継続して実施していくものであることから、御意見を踏まえ修正しました。	A(全部反映)	有	・通級による指導担当教員養成講座の拡大	通級による指導担当教員養成講座の継続実施
20	21	いかず	連続性のある多様な学びの場の充実	交流及び共同学習の充実	すべての校種における交流及び共同学習	交流及び共同学習の充実について記載した視点は、すべて支援が必要な側からのものである。交流先の小・中学校への働きかけとなるような取組が必要なのではないか。また、交流及び共同学習の意義などについて基本研修で扱うことが必要ではないか。	管理職研修や基本研修の中で交流及び共同学習の目的や意義の理解を図って行くこととします。	C(趣旨同一)	無		
21	22	支える	多様なニーズに対応した教育諸条件の充実	小・中・義務教育学校における教育諸条件の充実	特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による設置	通常の学級に在籍して支援が必要なので、通級をした方がよいと考えても、小中学校側の教室の設置等の関係でそれができないケースが結構ありますが実態はどうなっているのでしょうか。	通級指導教室での学びが望ましいという児童生徒数によって教室の設置数が決まりますので、実態を把握しながら関係者と確認し進めていくこととします。	F(その他)	無		
22	23	支える	多様なニーズに対応した教育諸条件の充実	外部専門家を活用した指導・支援の充実	外部専門家の活用	外部専門家の活用に、教育事務所へのSSWの配置や県立学校への出張相談という記載があるが、予算的に確保ができる見通しがあるのか記載か。	学校教育室生徒指導担当で実施している事業であるが、特別支援教育にも関わる事業であることから、生徒指導担当と確認をし、記載することとします。	F(その他)	無		
23	24	支える	共生社会の形成に向けた県民の理解	共生社会の形成に向けた県民の理解	特別支援教育サポーター養成	特別支援教育サポーター養成講座開催・周知、サポーターの活用例の周知とありますが、こういう貴重な情報はぜひ、伝えていただきたい。	サポーター養成講座やサポーターの活用例の周知については、御意見の通り周知に取り組んで行くこととします。	C(趣旨同一)	無		

新「いわて特別支援教育推進プラン」(素案)への意見検討結果一覧表

資料8

2023.08.31現在

回答番号	頁	キーワード	大区分	中区分	小区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への反映 状況	本文修正 の有無	記載内容(現行)	記載内容(変更後)
24	24	支える	共生社会の形成 に向けた県民の 理解	共生社会の形成に向け た県民の理解	特別支援教育サポーター 養成	特別支援協教育サポーターの活動例を知りたい。	特別支援学校では、運動会や学習発表会等の行事の補助、小中学校では、週1・2回程度学級に入ってもらい担任の手伝いをしていただくなどの活用例があります。このような活用例の周知について取り組んでいくこととします。	F(その他)	無		

資料8-3